



「なかよししゅうかい」

佐宗知枝さん

十二月八日は、くにかみ小のなかよししゅうかいでした。はじめてなので、とてもたのしみでした。

はじめに、「つみきつみ」をやりました。「ぷんかんで、わたしは五こつみました。しんきろくは十一こで二人しかいません

でした。

つきには、「ぷんかんしりとリ」です。どんなやりかたかなとおもって見ていました。ぷんかんで、なん人がしりとりできるかというゲームで、やってみたら、四てんしかとれなかつたです。たのしかったけれど、くやしかったです。

そのつきは、「かたあしだち」をやりました。ともだちが三十びょうたてました。すごいなおもいました。らい年は、がんばりたいです。

わたしががんばったのは、「シヤトルなげ」です。はじめは、七十てんをねらっていました。でも、五十てんと二十てんが、七十てんよりちかくにあつたので、二十てんをねらつたらせいこうしました。うれしかったです。

へいかいしきで、しゅんくんが、

「きょうは、たのしい一日でした。」

といいました。しゅんくんは、いうとき、どきどきしているようでしたが、あたまの中ですぐことばをかんがえられて、すごいなおもっていました。

きょうは、たのしい一日でした。

(評) なかよし集会のように、思ったことを入れながら順序よく書けました。いろいろなゲームが楽しめてよかったですね。

富沢賢慧さん



(評) 「によう」とそのほかの部分の組み立て方に気をつけて、上手に書けました。

若林大輝くん



(評) 練習の成果を出して、堂々とした字で書けました。

「たまいれ」

飯野加奈子さん

(評) たま入れのようすが、たのしそうにかけました。あかぐみもしろぐみも、がんばったうんどうかいでした。



「響け歌声 届け心に」
芸術部の皆さん

(部長金子日和さんのコメント)

私たち芸術部は、毎年文化祭の壁画を描いています。今年は、たくさんの色を使いカラフルに仕上げました。普段使っている被服室が都合により使えなかつたので、部室いっぱい紙をしいて色を塗りましたが、満足がいけないので大変でしたが、満足のいく出来でよかったです。

